

- 6) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 工藤武久, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA)患者に対する口腔内装置(OA)の長期使用に伴う形態学的変化とその予測について. 第39回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2024年6月23日, 同学会学術大会プログラム・抄録集:41頁, 2024.
- 7) 北村 円, 工藤武久, 市川佳弥, 新井萌生, 藤田瑛, 大澤知朗, サリ フィンサ, ヴァネッサ ウタマ, アレックス ケスマ, 齋藤 功, 丹原 惇: 鼻中隔形成における一次繊毛の役割. 令和6年度新潟歯学会第1回例会, 新潟, 2024年7月13日, 新潟歯学会雑誌??(?): ??頁, 2024.
- 8) 竹元 涼, 高橋功次朗, 大森裕子, 小林潤矢, 丹原惇, 川合巳佳, 三俣 哲, 齋藤 功: 口唇周囲軟組織の新たな硬さ計測方法の開発. 令和6年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2024年11月2日, 新潟歯学会雑誌 54(2): ?頁, 2024.
- 9) 小林潤矢, 竹元 涼, 大森裕子, 高橋功次朗, 齋藤 功, 川合巳佳, 三俣 哲: 歯科矯正治療に用いる口唇周囲組織の弾性率測定装置の開発. 第73回高分子学会年次大会, 仙台, 2024年6月5~7日, 2024.
- 10) 金森廉太郎, 高橋功次朗, 大森裕子, 川合巳佳, 三俣 哲: アルギン酸ゲルビーズから放出されたイオンの電気物性に及ぼす超音波照射の影響. 第73回高分子討論会, 新潟, 2024年9月25日~27日.
- 11) 小林潤矢, 竹元 涼, 高橋功次朗, 大森裕子, 川合巳佳, 三俣 哲: ポリウレタンエラストマーで模倣した口唇周囲皮膚組織の弾性率測定. 第73回高分子討論会, 新潟, 2024年9月25日~27日.

【受賞】

- 1) 大澤知朗, 丹原 惇, 西山秀昌, 高橋功次朗, 大森裕子, 新ちひろ, 齋藤大輔, 富原 圭, 小林正治, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における下顎骨の偏位様相と上顎咬合平面傾斜との関係について. 第34回日本顎変形症学会総会・学術大会 優秀ポスター賞, 2024年6月27日~28日.

【その他】

- 1) 岩間 基: マウス臼歯の根尖側セメント質の最表層には無細胞外部線維性セメント質が常に存在する. 新潟歯学会雑誌 54(1): 49頁, 2024.

- 2) 山田 貴大: 下顎偏位を伴う骨格性下顎前突症患者の顎矯正手術後における顎関節形態の変化. 新潟歯学会雑誌 54(2): 27頁, 2024.
- 3) 寺田 愛希: 新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側性口唇口蓋裂児における外鼻形態変化の長期的評価と治療効果に影響を与える因子について. 新潟歯学会雑誌 54(2): 29頁, 2024.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著書】

- 1) 伊藤加代子, 井上 誠: 第3章更年期・老年期3ドライマウス. 外来でみる女性診療 現場の教科書 (寺内公一編), 株式会社診断と治療社, 印刷中.
- 2) 井上 誠: 咀嚼と嚥下の関係. 最新言語聴覚講座 摂食嚥下障害, 16-19頁, 医歯薬出版株式会社, 2025.
- 3) 伊藤加代子, 井上 誠: 第2章6老化による口腔機能の変化①唾液腺と唾液分泌, ②口腔感覚. 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 4版 (羽村 章編), 49-52頁, 永末書店, 2025.
- 4) 辻村恭憲: 加齢と摂食嚥下機能. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会eラーニング対応 第1分野 摂食嚥下リハビリテーションの全体像 Ver.4, 110-116頁, 医歯薬出版株式会社, 2025.
- 5) 井上 誠: 咀嚼は嚥下を難しくするか. CLINICALREHABILITATION 臨時増刊誤嚥性肺炎とリハビリテーション, 646-649頁, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2024.

【論文】

- 1) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Charng-Rong Pan, Yuhei Tsutsui, Keiichiro Okamoto, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effects of potassium on laryngeal induced swallowing rate in rats. Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol Online ahead of print , doi:10.1152/ajpgi.00012. 2025.
- 2) Yuhei Tsutsui, Titi Chotirungsan, Charng-Rong Pan, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: The central neural control of the posterior belly of the digastric muscles during swallowing in rats. Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol 328(3):G277-G288, doi: 10.1152/ajpgi.00374.2024. 2025.
- 3) Koji Takahashi, Yutaka Watanabe, Takuma Okumura, Yasushi Tamada, Misuzu Sato, Masanori Iwasaki, Maki

- Shirobe, Hirohiko Hirano, Yoshihiro Kugimiya, Masako Kishima, Kayoko Ito, Yasuyuki Iwasa, Yoshihiko Watanabe, Shinsuke Mizutani, Kazuharu Nakagawa, Shigekazu Komoto, Yutaka Yamazaki: Association between Undernutrition and the Number of Molar Occlusions in Older Persons Requiring Care in Long-Term Care Insurance Facilities. *Nutrients* 17(4):630, doi: 10.3390/nu17040630. 2025.
- 4) Mari Nakao-Kato, Aya Takahashi, Jin Magara: Characterization of Beverage Viscosity Based on the International Dysphagia Diet Standardisation Initiative and Its Correspondence to the Japanese Dysphagia Diet 2021. *Nutrients* 17(6):1051. doi: 10.3390/nu17061051. 2025.
 - 5) Akira Okubo, Takanori Tsujimura, Rumi Ueha, Taku Suzuki, Yuhei Tsutsui, Yuta Nakajima, Nobuaki Saka, Anna Sasa, Eri Takei, Jin Magara, Makoto Inoue: Chewing well modulates pharyngeal bolus transit during swallowing in healthy participants. *Dysphagia* 39(6):1112-1124, doi: 10.1007/s00455-024-10689-z. 2024.
 - 6) Chisato Aizawa, Eri Takei, Jin Magara, Yasunobu Saito, Koki Noda, Yukiko Orihara, Mengjie Zhang, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Enhancing Swallowing Initiation: The Facilitatory Role of Crystalline Oil and Fat. *J Funct Foods* 121:106423, doi:10.1016/j.jff.2024.106423. 2024.
 - 7) Nobuaki Saka, Titi Chotirungsan, Midori Yoshihara, Charng-Rong Pan, Yuhei Tsutsui, Nozomi Dewa, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Functional involvement of the sternohyoid muscle in breathing and swallowing in rats. *Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol* 327(4):G598-G607, doi: 10.1152/ajpgi.00138.2024. 2024.
 - 8) Hajime Iwamori, Jin Magara, Wakana Onuki, Reiko Ita, Anna Sasa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of carbonation and thickening on voluntary swallow in healthy humans. *J Oral Rehabil* 51(10):2043-2051, doi: 10.1111/joor.13793. 2024.
 - 9) Rie Goto, Yuto Ochiai, Eri Takei, Reiko Ita, Kazuhiro Ono, Ryo Takei, Hideaki Washio, Hajime Takahashi, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Impact of salivary flow inhibition on masticatory behaviors in healthy individuals. *J Oral Rehabil* 51(9):1759-1769, doi: 10.1111/joor.13764. 2024.
 - 10) Kouta Nagoya, Takanori Tsujimura, Midori Yoshihara, Masahiro Watanabe, Jin Magara, Katsushige Kawasaki, Makoto Inoue: Physiological analyses of swallowing changes due to chronic obstructive pulmonary disease in anesthetized male rats. *Front Physiol* 15:1445336, doi: 10.3389/fphys.2024.1445336. eCollection 2024.
 - 11) Haruka Hino, Taku Suzuki, Kazuya Maekawa, Reiko Ita, Anna Sasa, Sirima Kulvanich, Eri Takei, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of bolus property on swallowing dynamics in patients with dysphagia. *J Oral Rehabil* 51(8):1422-1432, doi: 10.1111/joor.13709. 2024.
 - 12) Jin Magara, Reiko Ita, Yuhei Tsutsui, Haruka Sakai, Mengjie Zhang, Makoto Inoue: A case of dysphagia rehabilitation in the chronic stage of lateral medullary syndrome. *Dysphagia* 39(3):534-539, doi: 10.1007/s00455-024-10690-6. 2024.
 - 13) 大西淑美, 伊藤加代子, 相原喜子, 船原まどか, 藤田峰子, 藤村季子, 宮 しほり, 池上由美子: 新型コロナウイルス感染症パンデミックが及ぼす歯科衛生士への影響. *日本口腔ケア学会誌* 印刷中.
 - 14) 岩渕博史, 渡邊 裕, 戸谷収二, 中谷佑哉, 石田孝文, 伊藤加代子: Murata 口腔湿潤計ムーカスを用いた口腔粘膜湿潤度の評価. *歯科薬物療法学会誌* 印刷中.
 - 15) 井上 誠: Editorial. 歯科のことを知ってもらおう, *嚥下医学*, 14(1): 6, 2025.
 - 16) 真柄 仁: 口腔機能低下症とオーラルフレイル. *歯科のことを知ってもらおう, 嚥下医学*, 14(1): 14-19, 2025.
 - 17) 辻村恭憲: 咀嚼と嚥下の機能連関. 歯科のことを知ってもらおう, *嚥下医学*, 14(1): 28-34, 2025.
 - 18) 相澤知里, 真柄 仁, 板 離子, 筒井雄平, 坂井 遥, Zhang Mengjie, 井上 誠: 舌腫瘍術後の再建皮弁形態の変化に伴う摂食嚥下障害に対し舌接触補助床で対応した症例. *新潟歯会誌* 54(1): 29-35, 2024.
 - 19) 細島康宏, 上村博輝, 鈴木浩史, 辻村恭憲, 曾根あずさ, 宮澤 誠, 儀同真由美, 田中 舞, 蒲澤秀門, 小師優子, 小山 諭: 新潟大学医歯学総合病院における NST の活動状況について. *日本臨床栄養学会雑誌* 46:34-37, 2024.
- 【商業誌】**
- 1) 伊藤加代子, 井上 誠: もう「不定愁訴」なんて言わない! —他科に学ぶ更年期外来診療のポイント— 項目 16 ドライマウス・舌の痛み. *産科と婦人科* 92 (2), 印刷中.
 - 2) 辻村恭憲: 咀嚼と嚥下の制御メカニズム, 咀嚼・嚥下機能の評価とトラブルシューティング—窒息・誤嚥性肺炎の危機管理—. *Monthly Book Medical Rehabilitation* No303, 全日本病院出版会, 303:12-17,

2024.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者): モデル動物を用いた多面的アプローチによる嚥下障害の病態解明. 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B)), 課題番号 22KK0139, 5,900 千円, 2024.
- 2) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者): 摂食嚥下機能に関わる前帯状皮質の役割. 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 挑戦的研究(萌芽), 課題番号 22K19616, 1,800 千円, 2024.
- 3) 井上 誠 (研究分担者): 転写因子 Nrf2 の細胞保護・抗炎症作用に着目した、嚥下障害新規治療法の研究 (研究代表者 香取幸夫). 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 課題番号 22H03232, 500 千円, 2024.
- 4) 井上 誠 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者), 伊藤加代子 (研究分担者): 生体と食品の併行アプローチによる新たな咀嚼嚥下機能の理解 (研究代表者 小野和宏). 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 22K10073, 900 千円, 2024.
- 5) 井上 誠 (研究分担者), 真柄 仁 (研究分担者): 顎・舌の運動と筋量・筋質から咀嚼機能を評価する. 令和 5 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (研究代表者 渡邊賢礼). 2023 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 23K09513, 150 千円, 2024.
- 6) 井上 誠 (研究分担者), 辻村恭憲 (研究分担者): 拡散テンソル画像を応用した口腔機能改善の神経生理学的解析. 2023 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (研究代表者 白石 成), 基盤研究(C), 課題番号 23K09291, 200 千円, 2024.
- 7) 井上 誠 (研究分担者), 辻村恭憲 (研究分担者): 口腔機能に関わる島皮質の役割の解明. 2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (研究代表者 那小屋公太), 基盤研究(C), 課題番号 24K13002, 200 千円, 2024.
- 8) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者): 嚥下障害における anatomical diagnostic protocol 基盤形成の試み. 2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 挑戦的研究(萌芽), 課題番号 23K18356, 1,050 千円, 2024.
- 9) 真柄 仁 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者): 舌機能改善プロセスから考える感覚運動統合 -アクティブタッチの探索-. 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 22K10053, 1,000 千円, 2024.
- 10) 真柄 仁 (研究分担者): 脳可塑性変化に基づく口腔リハビリテーション効果の解析. 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (研究代表者 島田明子), 基盤研究 (B), 課題番号 23K24542, 65 千円, 2024.
- 11) 真柄 仁 (研究分担者): レオロジーの異なる炭酸飲料による嚥下機能への刺激効果の解明. 2023 年度日本学術振興会科学研究費補助金 (研究代表者 岩森大), 基盤研究 (C), 課題番号 23K01992, 50 千円, 2024.
- 12) 伊藤加代子 (研究代表者), 井上 誠 (研究分担者), 船山さおり (研究分担者): エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となりうるか?. 2022 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 22K10310, 900 千円, 2024.
- 13) 船山さおり (研究代表者), 伊藤加代子 (研究分担者), 井上 誠 (研究分担者): 嗅覚と唾液は自発性異常味覚の苦味を説明できるか?. 2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 課題番号 24K13258, 950 千円, 2024.
- 14) 小貫和佳奈 (研究代表者): 口腔機能低下症患者における咀嚼・嚥下障害の発症と改善機序の解明. 2024 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究, 課題番号 24K19962, 4,680 千円, 2024.
- 15) 小貫和佳奈 (研究分担者): 筋評価が口腔機能低下症の診断に果たす役割: 舌超音波画像特徴量の探索と筋構造の解析. 2024 年度文部科学省科学研究費補助金 (研究代表者 池真樹子) 基盤研究(C), 課題番号 24K13211, 10 千円, 2024.
- 16) 井上 誠: 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究 (共同研究). にいがた摂食嚥下障害サポート研究会, 230 千円, 2024.
- 17) 井上 誠: 菓子の咀嚼性差の要因検証 (共同研究). 亀田製菓株式会社, 900 千円, 2024.
- 18) 井上 誠: オトガイ下部への筋電気刺激が摂食嚥下関連に与える影響 (共同研究). 株式会社 MTG, 2,766 千円, 2024 (2023 年からの継続).
- 19) 井上 誠: キレート剤を用いて製造した介護食用野菜 (共同研究). 東洋食品研究所, 833 千円, 2024 (2023 年からの継続).
- 20) 井上 誠: 摂食嚥下治療登録医等養成研修に関する受託事業費 (受託事業). 新潟県歯科医師会, 3,180 千円, 2024.
- 21) 井上 誠: 高齢者に適した食品要件を生体機能から考える (研究助成). 東洋食品研究所, 2,000 千円, 2024.

- 22) 井上 誠：唾液分泌低下が魚肉練製品摂食にもたらす影響（研究助成）．一正蒲鉾，600 千円，2024.
- 23) 井上 誠：競争的資金応募支援資金（新潟大学），500 千円，2024.
- 24) 辻村恭憲：競争的資金応募支援資金（新潟大学），500 千円，2024.
- 25) 辻村恭憲：やずや論文支援金，50 千円，2024.
- 26) 真柄 仁：咀嚼嚥下の生体記録からオーラルフレイルの気づきを促進する（助成研究）．第 10 回奨励研究助成，ロッテ財団，3,000 千円，2023-2025（2023 年からの継続）.
- 27) 筒井 雄平：2024 年度日本学術振興会若手研究者海外挑戦プログラム，1,100 千円，2024.
- 28) 笹 杏奈：令和 6 年度新潟大学 U-go グラント，900 千円，2024.
- 29) 笹 杏奈：令和 6 年度新潟大学スイングバイスタートアップ，500 千円，2024.
- 30) 相澤知里：異なる米嚥下調整食品の咀嚼嚥下時における舌筋運動の定量化の試み．2024 年度古泉財団研究費助成金，500 千円，2024.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Makoto Inoue：Insight for Dysphagia Rehabilitation and Importance of Oral Function. 湖南省嚥下障害学会，湖南省人民医院 馬王堆分院（長沙，中国），2024.8.24.
- 2) Jin Magara: Mission of dentists for interprofessional collaboration in dysphagia rehabilitation. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Asian Session, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31, Program and abstract book p214, 2024.
- 3) Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: The neural mechanisms of initiation of mechanically evoked swallows. International Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2024, Pullman Bangkok King Power Hotel (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1. Program book p9, 2024.
- 4) Jin Magara, Wakana Onuki, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Assessment and Management of Oral Hypofunction. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1. Program book p17, 2024.
- 5) Makoto Inoue: Importance of oral health and orofacial function in elderly patients with dysphagia. The First Dentistry Joint Conference at Niigata University and Hasanuddin University, Unhas Hotel & Convention (Makassar, Indonesia), 2024.4.19.
- 6) 伊藤加代子：更年期以降の QOL に影響を与える口腔症状への対応．第 30 回日本女性医学学会ワークショップ，ホテル青森（青森県・青森市），2025 年 3 月 1 日．
- 7) 井上 誠：多職種連携のために他職種に知って欲しい嚥下診療における口腔機能と歯科医療（ポスター・コンgresセミナー）．第 48 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会，神戸国際会議場（兵庫県・神戸市），2025 年 2 月 23 日．抄録集 82 頁，2024.
- 8) 井上 誠：高齢者に求められる口腔リハビリテーションを考える．第 38 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会，慈恵会医科大学（東京都・港区），2024 年 12 月 8 日．抄録集 34-35 頁，2024.
- 9) 井上 誠：リハビリ・口腔・栄養の連携の中で作業療法士に求めるもの．第 35 回福島県作業療法学会，ポラリス保健看護学院（福島県・郡山市），2024 年 10 月 27 日．
- 10) 井上 誠：摂食嚥下リハビリテーション発展のための基礎研究．第 30 回日本嚥下リハビリテーション学会学術大会シンポジウム 9 基礎・臨床研究，福岡国際会議場（福岡県・福岡市），2024 年 8 月 30-31 日，第 30 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 166 頁，2024.
- 11) 辻村恭憲，井上 誠：嚥下誘発におけるカプサイシン感受性神経の関与．第 30 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会，福岡国際会議場（福岡県・福岡市），2024 年 8 月 30-31 日，第 30 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 166 頁，2024.
- 12) 伊藤加代子：味覚障害の検査．第 44 回日本歯科薬物療法学会学術大会，新潟県民会館（新潟県・新潟市），2024 年 7 月 13-14 日，歯科薬物療法 43(2):180, 2024.
- 13) 伊藤加代子：老年歯科医学教育の実態調査からみえてきたもの 歯学生に対する老年歯科医学の講義および実習の実態．一般社団法人日本老年歯科医学会第 35 回学術大会，札幌コンベンションセンター（北海道・札幌市），2024 年 6 月 28-30 日．
- 14) 井上 誠：人生 100 年時代：人生 100 年時代を健口でおいしく食べるための秘訣～管理栄養士に期待すること～．2024 年度新潟県栄養士会定時総会及び特別講演会．新潟テルサ（新潟県・新潟市），2024 年 6 月 15 日．

【講演・シンポジウム（その他）】

- 1) 井上 誠：歯科発信の高齢者食支援に向けた取り組み．令和 5 年度在宅歯科医療支援事業「基本研修」

講演会, 新潟県歯科医師会館 (リモート), 2025 年 3 月 4 日.

- 2) 井上 誠: 60 周年を迎える新潟大学歯学部 of これまでとこれから. 新潟大学歯科矯正学分野同門会, 新潟グランドホテル (新潟県・新潟市), 2024 年 12 月 15 日.
- 3) 真柄 仁: 顎口腔機能を考えた摂食嚥下機能研究. 日本顎口腔機能学会 第 71 回学術大会, 大阪大学歯学部 (大阪府・吹田市), 2024 年 4 月 13 日. 日本顎口腔機能学会 第 71 回学術大会 抄録集 19 頁, 2024.

【学会発表】

- 1) Takanori Tsujimura, Midori Yoshihara, Bradley J Udem, Brendan J Canning, Makoto Inoue: Involvement of P2X receptor in the initiation of swallows in anesthetized rats, Neuroscience 2024, McCormick Place Convention Center (Chicago, USA), 2024.10.5-9.
- 2) Charng-Rong Pan, Titi Chotirungsan, Nozomi Dewa, Yuhei Tsutsui, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: The sternohyoid muscle function on breathing and swallowing in rats. Neuroscience 2024, McCormick Place Convention Center (Chicago, USA), 2024.10.5-9.
- 3) Jin Magara, Hajime Iwamori, Wakana Onuki, Reiko Ita, Anna Sasa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of voluntary swallow induced by carbonation and thickening in healthy humans. European Society for Swallowing Disorders 2023 14th Annual Congress, University Hospital of Münster, (Münster, Germany), 2024.9.23-27.
- 4) Reiko Ita, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Corticomotor excitability change of intrinsic tongue and suprahyoid muscles area following repetitive tongue movement. European Society for Swallowing Disorders 2023 14th Annual Congress, University Hospital of Münster, (Münster, Germany), 2024.9.23-27.
- 5) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Charng-rong Pan, Midori Yoshihara, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Possible mechanisms of potassium ion facilitated swallowing initiation in rats. European Society for Swallowing Disorders 2023 14th Annual Congress, University Hospital of Münster, (Münster, Germany), 2024.9.23-27.
- 6) Ho Yin Leung, Jin Magara, Mengjie Zhang, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Comparing the effect of various stimulation parameters of neuromuscular electrical stimulation on hyoid movement. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31, Program and abstract book p287.
- 7) Reiko Ita, Chisato Aizawa, Jin Magara, Tsujimura Takanori, Makoto Inoue: Effect of repeated tongue pressure generation on corticomotor excitability of intrinsic tongue and suprahyoid muscles. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31, Program and abstract book p289.
- 8) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Charng-rong Pan, Midori Yoshihara, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Possible mechanisms of facilitatory effect of potassium ion on swallowing initiation in rat. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31, Program and abstract book p290.
- 9) Titi Chotirungsan, Charng-Rong Pan, Nozomi Dewa, Yuhei Tsutsui, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Exploring Neuronal Control in the Sternohyoid Muscle of the Rats during Swallowing and Breathing. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31.
- 10) Charng-Rong Pan, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Role of anterior cingulate cortex on the initiation of swallows in anesthetized rats. The 30th Annual Meeting of the Japanese Society of Dysphagia Rehabilitation, Fukuoka Convention Center, (Fukuoka, Japan), 2024.8.30-31, Program and abstract book page292.
- 11) Reiko Ita, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: The evaluation of electromyographic property of tongue and suprahyoid muscles during isometric tongue pressure generation. International Collaborate Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel, (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1.
- 12) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Charng-Rong Pan, Midori Yoshihara, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Possible mechanisms of potassium ion induced swallowing facilitation. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1.
- 13) Mengjie Zhang, Jin Magara, Reiko Ita, Chisato Aizawa, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Exploring the

- efficacy of crystalline oil and fat powder in facilitating swallowing under hyposalivation conditions. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1.
- 14) Ho Yin Leung, Jin Magara, Zhang Mengjie, Chisato Aizawa, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Comparing the Effect of Various Stimulation Parameters of Neuromuscular Electrical Stimulation on Hyoid Movement. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment, Pullman Bangkok King Power Hotel (Bangkok, Thailand), 2024.5.31-6.1.
 - 15) 板 離子, 真柄 仁, 井上 誠: 長期的なバルーン拡張法継続が経口摂取の維持に寄与した封入体筋炎の2例. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集167頁, 2025.
 - 16) 前川和也, 坂井 遥, 笹 杏奈, 落合勇人, 真柄 仁, 井上竜一, 梅谷華奈, 辻村恭憲, 井上 誠: キレート剤処理を行った食品の物性と摂食嚥下動態の評価. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集162頁, 2025.
 - 17) Zhang Mengjie, 真柄 仁, 板 離子, 相澤知里, 辻村恭憲, 井上 誠: Evaluation of swallowing characteristics for various medium-chain triglyceride oil and fat materials. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集161頁, 2025.
 - 18) 岩森 大, 石井穂乃果, 真柄 仁, 井上 誠: 炭酸飲料摂取時の味覚刺激および味覚感受性が嚥下筋活動へ及ぼす影響. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集161頁, 2025.
 - 19) Ho Yin Leung, 真柄 仁, Zhang Mengjie, 相澤知里, 板 離子, 辻村恭憲, 井上 誠: Comparing hyoid displacement under various neuromuscular electrical stimulation Parameters. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集159頁, 2025.
 - 20) 相澤知里, 真柄 仁, 板 離子, 辻村恭憲, 井上 誠: 咀嚼嚥下時における舌筋活動パターンの定量的評価. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集158頁, 2025.
 - 21) 柴垣あかり, 真柄 仁, 板 離子, 筒井雄平, 坂井 遥, Mengjie Zhang, 河野 茜, 松香芳三, 井上 誠: 病態変化に応じた代償嚥下法の獲得が経口摂取の維持に有効であったか咽頭がん術後の一例. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集154頁, 2025.
 - 22) 鈴木 拓, 長谷川 博, 秋本哲男, 古志奈緒美, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 舌接触補助床の簡易製作法とその臨床応用に関する検討. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集102頁, 2025.
 - 23) 小貫和佳奈, 真柄 仁, 小師優子, 鳥谷部真一, 井上 誠: 病院食での誤嚥・窒息事故防止を目的とした「食種形態アセスメント」の実態調査. 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会, 神戸国際会議場 (兵庫県・神戸市), 2025年2月21-22日, 第48回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会抄録集101頁, 2025.
 - 24) 小貫和佳奈, 板 離子, 真柄 仁, 井上 誠: 口腔機能と体組成および身体機能の関連. 第38回日本口腔リハビリテーション学会学術大会, 東京慈恵医科大学2号館講堂 (東京都・港区), 2024年12月7-8日, 日本口腔リハビリテーション学会雑誌37(1): 49, 2025.
 - 25) 葭澤秀一郎, 河野 茜, 片平治人: 睡眠歯科外来に来院する睡眠時無呼吸症患者の眠気. 第23回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 徳島大学歯学部大塚講堂 (徳島県・徳島市), 2024年11月3-4日, 第23回日本睡眠歯科学会総会・学術集会抄録集86頁, 2024.
 - 26) 落合勇人, 板 離子, 小貫和佳奈, 前川和也, 相澤知里, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 唾液分泌低下及び油脂添加がパンの咀嚼・嚥下運動と食塊物性に与える影響. 令和6年度新潟歯学会第2回例会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年11月2日, 新潟歯学会雑誌54 (1): 43, 2024.
 - 27) 笹 杏奈, 伊藤加代子, 小貫和佳奈, 辻村恭憲, 真柄 仁, 井上 誠: 摂食嚥下障害児童に外食の

- 機会を提供する「ばりあふりーお食事会」の紹介. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集483頁, 2024.
- 28) 前川和也, 坂井 遥, 落合勇人, 真柄 仁, 井上竜一, 梅谷華奈, 辻村恭憲, 井上 誠: キレート剤処理を行った食品の摂食嚥下動態評価. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集461頁, 2024.
- 29) 相澤知里, 真柄 仁, 板 離子, 筒井雄平, 坂井遥, Zhang Mengjie, 井上 誠: 舌腫瘍術後の摂食嚥下障害に対してPAPを装着し舌再建皮弁の変化に応じて調整した症例. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集385頁, 2024.
- 30) 柴垣あかり, 真柄 仁, 板 離子, 筒井雄平, 河野 茜, 坂井 遥, 松香芳三, 井上 誠: 代償嚥下法の継続によって経口摂取を維持した下咽頭癌術後の一例. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集323頁, 2024.
- 31) 真柄 仁, 下柿元智也, 辻村恭憲, 伊藤加代子, 小貫和佳奈, 鈴木健嗣, 井上 誠: 摂食嚥下障害診療支援のための情報共有アプリの設計とその活用予備的報告. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集319頁, 2024.
- 32) 小貫和佳奈, 相澤知里, 板 離子, 真柄 仁, 井上 誠: 歯科外来初診患者における口腔機能と身体機能および体組成の関連. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集308頁, 2024.
- 33) 相澤知里, 真柄 仁, 板 離子, Zhang Mengjie, Ho Yin Leung, 小貫和佳奈, 辻村恭憲, 井上 誠: 物性の異なる米嚥下調整食品の咀嚼嚥下時における舌筋活動の定量化の試み ―予備的研究―. 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 福岡国際会議場 (福岡県・福岡市), 2024年8月30-31日, 第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集304頁, 2024.
- 34) 河野 茜, 井上 誠, 河野正己: 新型コロナは日本居住者の睡眠をどう変えたか - 睡眠調査アプリによる研究 -. 日本睡眠学会第 48 回定期学術集会, パシフィコ横浜ノース (神奈川県・横浜市), 2024年 7 月 18-19 日, 日本睡眠学会第 48 回定期学術集会プログラム抄録集 306 頁, 2024.
- 35) 池浦一樹, 落合勇人, 笹 杏奈, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 唾液分泌低下がもたらす種々の食品咀嚼への影響. 令和6年度新潟歯学会第1回例会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年7月13日. 新潟歯学会雑誌 54 (1): 37, 2024.
- 36) 板 離子, 真柄 仁, 落合勇人, 辻村恭憲, 井上 誠: 舌筋および舌骨上筋の等尺性収縮による舌圧発揮時の筋活動様式の検討. 令和6年度新潟歯学会第1回例会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年7月13日. 新潟歯学会雑誌 54 (1): 33, 2024.
- 37) 川田里美, Chotirungsan Titi, 筒井雄平, Pan Charng-rong, 吉原 翠, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: ラットにおけるカリウムイオンの嚥下誘発促進メカニズム. 令和6年度新潟歯学会第1回例会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年7月13日. 新潟歯学会雑誌 54 (1): 32, 2024.
- 38) 松田有加子, 楠 尊行, 森岡裕貴, 飯田 崇, 真柄 仁, 高橋一也, 島田明子: 高齢低舌圧患者に対する反復的舌トレーニングが中枢および末梢にもたらす変化の検証. 日本補綴歯科学会第133回学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2024年7月5-6日, 日本補綴歯科学会第133回学術大会プログラム・抄録集409頁, 2024.
- 39) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nouaki Saka, Satomi Kawada, Nozomi Dewa, Taku Suzuki, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of reflex responses of the anterior and posterior bellies of the digastric muscle in freely moving rats. 令和6年度新潟歯学会総会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年4月13日. 新潟歯学会雑誌 54 (1): 53, 2024.
- 40) 筒井雄平, Piriyaarasath Kajita, Chotirungsan Titi, 出羽希, Charng-Rong Pan, 真柄 仁, 辻村恭憲, 岡本圭一郎, 山村健介, 井上 誠: 嚥下時における顎二腹筋後腹の関与. 令和6年度新潟歯学会総会, 新潟大学歯学部 (新潟県・新潟市), 2024年4月13

日. 新潟歯学会雑誌 54 (1) :52, 2024.

【研究会発表】

- 1) 相澤知里: 舌腫瘍術後の再建皮弁形態変化を伴う摂食嚥下障害に対して舌接触補助床で対応した症例. 第1回全国歯科大学・歯学部 若手歯科医師臨床症例発表会, 日本歯科医師会館 (千代田区, 東京都), 2025年3月30日, 全国歯科大学・歯学部若手歯科医師臨床症例発表会抄録集 9頁, 2025.
- 2) 伊藤加代子: 更年期女性によくみられる口腔の症状とその対応. 唾液ケア研究会, 神奈川歯科大学 (神奈川県・横須賀市), 2024年11月23日.
- 3) 河野 茜, 井上 誠, 小林義昭, 小川 智, 河野正己: 睡眠時誤嚥(Sleep Aspiration)のリスクファクター解析. 第20回新潟睡眠呼吸障害研究会, 新潟医療人育成センター (新潟県・新潟市), 2024年10月5日.

【受賞】

- 1) 相澤知里: 第1回全国歯科大学・歯学部 若手歯科医師臨床症例発表会 優秀賞, 日本歯科医師会, 2025年3月30日.
- 2) 板 離子: 2024年度 日本顎口腔機能学会奨励賞, 日本顎口腔機能学会.

【その他】

- 1) 濱島北斗, 伊藤加代子: 大切な食事介助のこと. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年3月27日.
- 2) 河野 茜, 辻村恭憲: 睡眠とからだ. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年3月13日.
- 3) 川田里美, 真柄 仁: 口腔ケアを学ぼう!. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年2月27日.
- 4) 井上 誠: 嚥下障害患者の嚥下動態に対してのリセットゲルの可能性. ユニテック講演会 (Web), 2025年2月17日.
- 5) 伊藤加代子: 更年期女性によくみられる口腔症状への対応. 大塚製薬社内研修会 (Web), 2025年2月13日.
- 6) 武田安永, 辻村恭憲: 高齢者の栄養. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年2月13日.
- 7) 相澤知里, 小貫和佳奈: オーラルフレイルを知ろう!. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年1月23日.
- 8) 真柄 仁: 3つの看護場面から取り組む誤嚥性肺炎

予防. 新潟大学医歯学総合病院 西9階病棟看護師勉強会, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年1月17日.

- 9) 真柄 仁: お口の衰え, オーラルフレイルを予防しよう!. 2024年度 バイタルケア新潟セミナー, バイタルケア新潟介護ショップ (新潟県・新潟市), 2025年1月16日.
- 10) 坂 暢晃, 小貫和佳奈: 地域の病院に学ぶ③. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2025年1月9日.
- 11) 井上 誠: 餅による高齢者の窒息死には認知機能の低下も関係? 雑煮はより注意! 事故を防ぐ食べ方のコツと普段からできる予防法. JNNプライムオンライン (<https://www.fnn.jp/articles/-/805904>), 2024年12月30日.
- 12) 2024年度にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会, 新潟大学歯学部講堂 (新潟県・新潟市), 2024年12月14日.
- 13) 前川和也, 河野 茜: 「食べる」の訓練について. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024年12月26日.
- 14) 菊池裕子, 辻村恭憲: 身近に感じる摂食嚥下. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024年12月12日.
- 15) 板 離子, 笹 杏奈: 「食べる」の仕組み. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024年11月28日.
- 16) 船山さおり, 坂 暢晃: くちのかわき・味覚障害. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024年11月14日.
- 17) 新大祭～in 古町ルフル～, 舌 (ぜつ) をはかってみよう!. 2024年11月3日.
- 18) 新大祭紹介, NST スマイルスタジアム, 2024年11月2日.
- 19) 真柄 仁: 摂食嚥下障害一知って, ケアして, 健康長寿を目指そうー. 令和6年度 第3回新潟気軽に省エネくらぶ企画講座, 新潟市亀田市民会館 (新潟県・新潟市), 2024年10月25日.
- 20) 真柄 仁, 前川和也: オーラルフレイルを知ろう!. 2024年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024年10月24日.
- 21) 小貫和佳奈: スタンダード摂食嚥下, コロニーにいがた白岩の里 (新潟県・長岡市), 2024年10月23日.
- 22) 井上 誠, 真柄 仁: 人生100年時代の中で豊かな生活をお口の健康とともに. MySCUE 体験イベント 講演会, イオンモール新潟亀田 (新潟県・新潟市), 2024年10月13日.

- 23) 第 20 回ばりあふりーお食事会. ホテルオークラ新潟, 2024 年 10 月 12 日.
- 24) 武田安永, 小貫和佳奈: 栄養を学ぼう!. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 10 月 10 日.
- 25) 前川和也, 坂 暢晃: 大切な食事介助のこと. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 26 日.
- 26) 真柄 仁, 鈴木 拓, 笹 杏奈: ワークショップ⑤ 嚥下記録の面白さを知ろう. 第 13 回顎口腔機能セミナー, ホテル千秋閣 (徳島県・徳島市), 2024 年 9 月 20-22 日.
- 27) 真柄 仁; 留学体験記. 第 13 回顎口腔機能セミナー, ホテル千秋閣 (徳島県・徳島市), 2024 年 9 月 20-22 日.
- 28) 伊藤加代子: 歯科におけるカウンセリングの紹介 Ver.3. 新潟県カウンセリング協会研修会, 新潟市総合福祉会館 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 15 日.
- 29) 伊藤加代子: ラインケア～より良い組織・チームづくりのためのコミュニケーション～. 東芝ホームテクノ株式会社 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 13, 19 日.
- 30) 小貫和佳奈, 相澤知里: 口と身体の関係. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 12 日.
- 31) 伊藤加代子: 健康でおいしく・楽しく食べる～唾液と味覚の役割を中心に～. そのき市民学級, 曾野木公民館 (新潟県・新潟市), 2024 年 9 月 10 日.
- 32) 笹 杏奈, 川田里美: 「話す」の訓練とは. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 8 月 22 日.
- 33) 水口俊介, 會田英紀, 伊藤加代子, 有友たかね, 大渡凡人, 中根綾子, 原野 望, 竜 正, 小笠原 正, 尾立 光: 老年歯科医学 診療参加型臨床実習マニュアル「口腔機能低下症の検査」. 老年歯科医学, 39(suppl):13-40, 2024 年 8 月 20 日, https://doi.org/10.11259/jsg.39.supplement_13
- 34) 羽尾直仁, 濱島北斗: 地域の病院に学ぶ②. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 8 月 8 日.
- 35) 伊藤加代子: 口腔ケアの実際と食事介助の基本. 2024 年度口腔ケア研修会, 新潟県社会福祉協議会, Web 開催, 2024 年 7 月 31 日.
- 36) 辻村恭憲, 河野 茜: 「食べる」の訓練とは. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 7 月 25 日.
- 37) 真柄 仁, 小貫和佳奈, 井上 誠: 新潟大学医歯学総合病院歯科外来患者における口腔機能低下症と身体機能の関連評価. フレイル対策二次予防事業等実施報告会, 新潟県医師会館 (新潟県・新潟市), 2024 年 7 月 22 日.
- 38) 伊藤加代子, 板 離子: くちのかわき・味覚障害. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 7 月 11 日.
- 39) 船山さおり, 筒井雄平: 口腔ケアを学ぼう!. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 6 月 27 日.
- 40) 江川広子, 小貫和佳奈: 地域の病院に学ぶ①. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 6 月 13 日.
- 41) 相澤知里: お仕事紹介 File02 歯科医師 高校生・中学生の進路選択に役立つ医療介護栄養のお仕事まるわかり事典. 16-17, 株式会社日本医療企画北信越支社, 2024 年 5 月 31 日.
- 42) 笹 杏奈, 菊池裕子, 伊藤加代子: 「食べる」の仕組み. 2024 年度摂食嚥下セミナー, 新潟大学医歯学総合病院 (新潟県・新潟市), 2024 年 5 月 23 日.
- 43) 川田里美: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 44) 筒井雄平: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 45) 濱島北斗: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 46) Ho Yin Leung: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 47) 板 離子: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 48) 出羽 希: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.
- 49) 相澤知里: 新潟大学未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロンランナー育成プロジェクト (次世代プロジェクト), 2024.

硬組織形態学分野

【論文】

- 1) Ohshima H, Ono K, Mishima K: Oral biosciences: The annual review 2024. J Oral Biosci 67(1): 100631, 2025.
- 2) Ushiki T, Mochizuki T, Osawa M, Suzuki K, Tsujino T,